

「地域特性を生かした産業基盤の構築」と 「京都舞鶴港の機能強化の推進」を要望

西脇京都府知事との懇談会は、午前10時から京都府商工会議所連合会の塚本能交会長（京都商工会議所会頭）と西脇知事のあいさつから始まりました。

8商工会議所の要望については、当所小西会頭が最初の提言者として発言。重点要望事項として、舞鶴は関西経済圏における一大エネルギー拠点で、未来を見据えた「地域特性を生かした産業基盤構築」について、エネルギー関連事業やものづくり産業の活性化につながる取り組みが展開されるよう、長期的視点にたった支援を要望。また、日本海側の拠点港である「京都舞鶴港の機能強化」について、舞鶴国際ふ頭の2バース目と第Ⅱ期整備の着手に対し感謝の意を述べるとともに、関西経済圏の活性化に向け、更なる事業の推進を要望しました。

これに対し、西脇知事は現在港湾における再生可能エネルギーの活用について市と連携し取り組んでいる



京都府商工会議所連合会の「京都府知事との懇談会」(11月29日:京都市)

ことや舞鶴港の機能強化は引き続き進めていくと話されました。

なお、小西会頭から西脇知事への要望概要は次のとおりです。

重点要望事項

1. 地域特性を生かした産業基盤の構築

本市は、日本海側の重要拠点港である京都舞鶴港と造船業をはじめ高い技術力のあるものづくり産業を有するとともに、関西の約500万世帯に電力を供給する舞鶴発電所が立地し、隣接には全国で唯一、府県域を超えてPAZを有する高浜発電所が所在するなど、関西経済圏を支える一大エネルギー拠点であります。

コロナ禍にあって、地方分散型社会の重要性が増す中、未来を見据え、重要な地方拠点都市である舞鶴市において、地域特性を生かしたエネルギー関連事業、ものづくり産業の活性化につながる取り組みが展開されるよう、長期的視点に立った支援の検討をお願いいたします。

2. 京都舞鶴港の機能強化

重要な日本海側の拠点港である京都舞鶴港の物流拠点・舞鶴国際ふ頭につきましては、今年度から国による2バース目の整備と、京都府による埠頭北側の第Ⅱ期整備が着手されることとなったところであり、地元経済界として厚く感謝申し上げるとともに、大きな期待を寄せているところであります。

また、道路整備も相まって、国際ふ頭は日本海側の重要拠点港として、将来の物流拠点の整備と併せ、その機能が一層強化されるものと期待しているところであり、京都府北部地域はもとより、関西経済圏の活性化に向け、各事業の一層の推進をお願いいたします。